

あかりや日誌

- 2月 20日 朗読の会
- 24日 朗読の会公開中止を決定
- 27日 公開中止のお知らせ発送
- 3月 2日 サキモトさん転院
- 6日 音響・照明等準備
- 7日 朗読発表会 収録
- 9日 キルトの会
- 12日 訪問美容
- 19日 3月の朗読の会…中止
- 23日 キルトの会
- 24日 マスク作り
- 27日 ビデオ編集完了
- 28日 土曜オープン 整体「あさん手」
- 4月 3日 朗読発表会の動画 YouTube にアップ。

朗読の会

4月の朗読の会は中止いたします。

コロナウィルス感染の広がりを考慮し、今月も集まりは控える事にします。5月は、状況を見て判断し、お知らせします。

皆様、お気をつけて、元気にお過ごしください。

編集後記

日本全国、新型コロナウイルスの感染が広がっていて怖いんですね…。

皆さん、元気にしていますか？

私まという、出張する事は、あかりやに働きに来るくらいで、どこにも遊びに行けないから、結構辛いんです…。

カフェにも行けないから寂しいです。

いつまで、こんな状況が続くんでしょうね。

一日でも早く終息してくれることを願うばかりです。

ほっとぽっと このごろ

★桜は八分咲き、1年で一番美しい季節なのに今年はコロナ自粛で「お花見」は罪悪になってしまいました。買い物途中にしばし青空と桜の枝を見上げるだけの花見です。

★朗読の会は3、4月中止しましたが、あかりやの日常は、特に変化ありません。手術をしたマキ母もゆっくりペースを取り戻しつつあるし、他のメンバーも元気です。近隣のお客様は三々五々寄って下さって。適度な距離でおしゃべりして、笑って、帰って行かれます。でもその実、皆さんすごく感染には気をつけて生活しておられます。

★学校の一斉休校も1ヶ月を過ぎ、親子が悲鳴を上げています。キラスマのお母さんたちは土日に山歩きや海岸遊びなどを計画し親同士協力し合っって懸命に子どもたちを見守っておられます。海外では閉じこもり生活が長引き、児童虐待も増えているとか。非常時となると、学校機能は全て親に丸投げになるんですね。

★あかりやのお向かいには児童デイ「よりみちクラブ」。休校が始まってからは、朝から10名ほどの子どもたちが、狭い一部屋に集まっています。散歩など、工夫しておられますが、児童館や学童など学校とは比べものにならない程、狭い環境で子どもたちは過ごしています。これって、感染予防になるのでしょうか？

家の中で楽しめる事がないかなあと考えていますが、なかなか思い浮かばず…

だから、休みの日は、ただぼーっとして過ごしてばかりです(;>_<)

でも、元気でいられることが一番なんですけどね。

たまー



ほっとNEWS

2020年3・4月 NO.137



〒653-0853

神戸市長田区庄山町2丁目5番地13号
フットバンクスインターナショナルビル1F
特定非営利活動法人 ほっとぽっと

TEL/Fax 078-766-1356

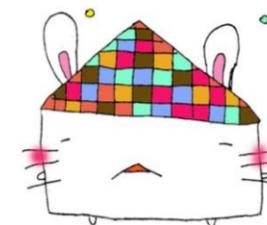
Email/hot-pot@hi-net.zaq.ne.jp

発行責任者 森岡 千代

編集責任者 松本 絵里奈

目次

「第11回ほっとぽっと朗読発表会」顛末記P.1
私と息子の小学校就活記(3)P.2
まゆみのわくわくコラム	
ときどきエッセーP.3
第11回ほっとぽっと朗読発表会のビデオを視聴していただくために	
シリーズお世話になってます(24)	
いらっしゃいませ あかりやへP.4
りすさん&お兄ちゃん 結婚の話しよう(11)P.5
さきもと女史近況	
ほっとぽっと このごろ 編集後記P.6



「第11回ほっとぽっと朗読発表会」顛末記

毎年12月～1月にかけて、朗読発表会の日時の設定と会場の確保は悩みの種です。予定を調節して日時を決め、会場使用を申し込む。しかしどこも申込者が多くて、今年は特に難航して困っていたら、以前お借りした須磨区役所の多目的室が空いて、やれやれと準備を進め始めました。その頃から、新型コロナウイルスの感染者がポツポツ出始めました。「でも、まだ兵庫県・神戸市は大丈夫」とニュースを横目に準備を続行、ボランティアさんをお願いしたり、車の手配をしたり、役割分担など、大方の段取りができたのが2月24日。まだ兵庫県内は感染者空白でした。

しかし考えてみると、朗読の会メンバーは呼吸器機能の弱い人、難病や慢性疾患を持った人、などが多数です。ひとたび近くで感染者が出たら…と考えると恐ろしくなりました。少し前から、手の消毒液もマスクも手に入らなくなり、会場の感染対策も十分にできるか心許ない状況でした。スタッフと相談の上、これはやっぱり実行すべきでない判断。急遽、観客なし、来られる人だけでビデオ撮りして、ホームページ上で、またはDVDの貸し出しで見てもらおう、と計画を変更しました。

その週末金曜日に全国の学校が突然休校になり、世間の緊張感は一挙に高まりました。すべてのイベントは中止、収録用に借りていた区役所の会場も使用禁止になりました。施設も病院も外出・面会禁止になり、障がいのメンバーが参加できなくなりました。「もう無理、完全に中止するしかない」と思いましたが、こんな時だからYouTubeデビューを試してみたい…というわけで、「参加できる人だけ、十分気をつけて、無理をしない」を原則に、会場をあかりやにして決行しました。3月初旬だから出来た事。その後の感染の広がりを見ると、月末の予定だったら絶対出来なかったと思います。3週間経って、皆さんの無事を確認してほっとしています。

私と息子の小学校就活記(3)

パンダママ

昔の職場の友人からスクールボランティアという活動を紹介してもらい、週1回半日だけお手伝いをさせていただくことになりました。そこは子供たちが楽しそうで、ボランティアをしていて楽しかったです。学校なので、頑張らないといけないこともあります。お友達との関係も簡単じゃないです。でも、教室で頑張っ、あおぞら教室に戻ってくれば、そこは笑顔でワイワイ騒ぐことができ、それぞれ好きな遊びを楽しむことができる居場所でした。「この子ども達は幸せだな。うちの子もこんな場所で過ごせないかなあ。」と思うようになりました。

お隣の小学校に見学に行ったのは夏休み明けからでした。周辺の小学校でここにしたいと思った理由は3つありました。

1つ目は、家からの距離が地域の小学校とほぼ変わらないこと。2つ目は、この小学校には、同じ幼稚園の一つ上の学年にも、同じ学年にも、その下の学年にも、うちの子を知っている子どもがいます。3つ目は、この小学校の環境がスクールボランティアをさせてもらっている小学校と似ていたからです。

学校は小規模で、支援学級は現在6名。ベテランの年配の先生と支援学校から赴任された若い先生の2人で担任されていました。教室は2クラス分、片方に広いスペースがあり、片方がお勉強するお部屋でした。どちらのお部屋も整理整頓が行き届いていました。見学に行った時は運動会の練習中でしたが、おとなしすぎるくらい落ち着いた静かな雰囲気でした。教室にお邪魔すると、すぐうちの子に駆け寄り、「どうしたの？何しに来たの？」と声をかけてくれる生徒さんが2名。終了後、校長室で30分近く校長先生とお話をさせていただきました。丁寧な対応で、帰る時にはここなら大丈夫かもしれないと思ひ込んでいました。

校長先生から連絡をいただいたのは、幼稚園の運動会が終わった翌週。夫と一緒に来てほしいとの連絡。仕事を休んだ夫と小学校に行ったのは、雨のひどい日でした。校長室に、校長先生、支援学級の主任の先生が待たれていました。開口一番、「運動会の様子を見せていただきました。その様子を見て校内で色々検討いたしました。最初に結論をお伝えすると、お子さんを

真弓のわくわくコラム・e・

「私のバレンタイン」

寒くなったり、あたたかかったり、気温差が激しいですね。私のバレンタインは、チョコレートをあげる人が5人います。いつものメンバーです。お父さん、おじいちゃん、Mさん、訪問ドクター、訪問入浴のスタッフさんです。カタログを見ながら、選びます。私が、お小遣いで買います。みんな嬉しそうです。ホワイトデーが楽しみです。



「新しく始める事」

あったかくなりましたね。新しく始める事を紹介します。今年も、Iさんが、通園とか、泊まりに来てくれることとか、Tさんと、たくさん話することとか、私はとても楽しみです。異動がないといいな。

真弓

お預かりすることは安全管理上不可能です。常に加配の先生と行動されていました。同じ環境をここで作ることは不可能です。例え教師がついていても、他の子ども達と同じ速度で校内を移動することはできませんよね？生活自立ができていないのも厳しいです。当校も来年度は支援級が9名になる予定です。お子さんのために割く人がいないというのが現状です。」

私は、1年だけでもいいから、地域で生活させてほしいと伝えましたが、校長先生は「支援学校には専門家が沢山います。うちとは環境が違います。」その後、何を話して、どうやって帰ったのか分かりません。四十半ばのおばさんが雨の中、傘に隠れて泣きながら帰りました。期待していただけに失望は大きく、しばらくは朝起き上がるのも苦痛な毎日でした。

りすさん&お兄ちゃん 結婚の話しよう(11)

「わたしたちの けっこん」
ふるまい りえ
わたしたち、まだ けっこん
できていません。
わたしの おやが あんまり さんせいで
は ないのです。
でも、わたしたち けっこんする
おばあさんに なっても
おにいちゃんと なかよし
あいは かわらへん
ずっと いっしょにいたい。
なんでかいうたら
おにいちゃんと いるのが おちつく。
おかねが なくても けっこんする。
ふたりきりでも けっこんする。
わたしたちは しあわせです。
みなさん(応援してくださって)ありがとう。

「夢を見た」 みとや いさお

おかあさんがいました。
「よろしく」と言っていました。
理恵さんにおかって
ぼくのこと、「よろしく」と言っていました。



朗読発表会で聞いて、二人のなりゆきを気にかけて下さる方々に、今年も聞いていただきたいと、読む練習をしていた文章です。二人の暮らす園は、今、外出も、面会もできません。安全と引き替えに、社会との接触を断たれる。厳しい自然災害です。

りすさんは、大切な家族に、自分の思いがなかなか伝わらない、伝えられない今の気持ちを言葉にしました。お兄ちゃんは、亡くなったお母さんが、夢の中で彼女にやさしく「よろしくね」と言ってくれた事を伝えてくれました。

サキモト女史近況



こんにちは～咲本百合です!!
1月の14日に首の手術をしました。正直言うと、めちゃめちゃ怖かったです。手術の前に、夢を見ました。手と足が動かなくなって、しゃべれなくて、お母さんが、先生(医者)に怒っている夢でした。夢が覚めて、失敗するのかな...と思って怖くなりました。手術が終わって目が覚めた時、「おわったんや。成功したかな?今まで通りになったかな?」と考えていました。手術の後、何日か、泣いてばかりいました。ほっとして、「お父さんありがとう」と思って泣きました。

その後の病院生活は、変な靴下をはかせられたり、ごはんはやわらかいおかゆさんばかりだったり、ダサイ病院のねまきを着せられたり、意地悪なおばさんが隣にいたりして、地獄でした。

今は、向かいにいるおばちゃんが良い人で、おしゃべりして仲良くなりました。「王子とうさぎ」の本を談話室において、いろいろな人に読んでもらう作戦を立てたりしています。

早く退院して、小説を書いて、夏にはまたジオラマ展をしたいです。

はやく、退院したいよ!
ぬるま湯地獄のサキモトより。

手術前後の事を振り返って書いてくれました。この文章を朗読発表会で発表するため、録音する予定でしたが、新型コロナウイルスの感染予防のため、全面的に面会禁止になり、果たせませんでした。

サキモト女史、今はリハビリテーション専門の病院に転院し、元気に訓練に励んでいます。お友達もできたとか。この病院も感染予防のため、当分会いに行けません。一人で初めての生活、びっくりすることも多いようですが頑張っています。今年久しぶりに「童話大賞」に応募しようと言う気になったそうで、すでに作品を書いています。早く、映画も見に行けるように、なればいいですね。